



# グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2020

<http://www.ndjs.org/>

第2号

令和2年6月22日

今できること、すべきことを一つ一つ丁寧に取り組んでいきます。

校長 足立 浩

6月も半ばを過ぎ、インドでは一年のうち最も暑い時期を迎えています。ニューデリー日本人学校にとって例年の6月は夏休みですが、今年はオンライン授業を続けることにいたしました。新型コロナ対応で外出や旅行等ができない中、少しでも学習を進めておきたいとの思いからです。児童生徒の皆さんには、夏休みが先延ばしになり残念な思いもあるかと思いますが、今できること、すべきことを一つ一つ丁寧に取り組み、やる気を維持してほしいと思っています。

オンラインでしか繋がっていないこの間も、日本人学校理事会、バス運営委員会の皆様には、学校運営に関わる件で大変お世話になっております。ニューデリー日本人学校の児童生徒、保護者、そして理事会をはじめ関係者の皆様、学校を支えていただいているすべての方々に心より感謝申し上げます。

4月以降、校舎にも入れず、教室での授業もできず、児童生徒の皆さんと顔を合わすことがかなわないこの現状に、始業式の折に伝えた「知・徳・体」の育成が可能だろうか、1つの学校として成り立っているのだろうか、学校における教育が推進できているのだろうか、と苦悩する毎日が続いています。

そんな中ですが、各学年の ZOOM 教室を参観し、オンライン授業に参加している子どもたちの一生懸命学びに向かっている顔を見ると、元気とたくましさをもたらすようでとても嬉しく思います。

先の金曜日、1年生の「帰りの会」のとき、担任の先生から2人の転出児童の紹介がありました。4月よりずっとパソコンの画面上での勉強や交流だけでしたが、2人の児童からは「今までありがとう」「一緒に勉強できてたのしかったです」という言葉を、また横にいらした保護者の方から「短い期間でしたがお世話になりありがとうございました」という言葉をお聞きしました。コロナ禍さえなければ、ニューデリー日本人学校で多くのお兄さん、お姉さんとご家族に囲まれて、入学式でお祝いをできたのに、やむを得ないとはいえ残念で思わず胸が熱くなりました。

外務省の感染症危険レベルが3となり、インド・日本間の往来はますます厳しくなっています。インド国内の感染者数はまだ増えている状況です。一方、日本国内の学校は学校が再開し、新しい生活様式に基づいた学校生活が始まりつつあります。今、様々な事情により、ニューデリー日本人学校を離れることを余儀なくされているご家庭もあるかと思えます。寂しいことですが、私たちはいつでも待っていますので、落ち着きましたらぜひニューデリー日本人学校に戻ってきてください。

先が見通せない中、悩みは尽きませんが、日々子どもたちは心も体も頭も成長していきます。一日も早く学校に登校できること、友達や先生との出会いができることを願いつつ、今できること、今やるべきことを一つ一つ丁寧に推し進め、新たな一日を大事に過ごしていきたいと思っています。

引き続き、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。